

中小企業診断士試験 2次試験 合格体験記

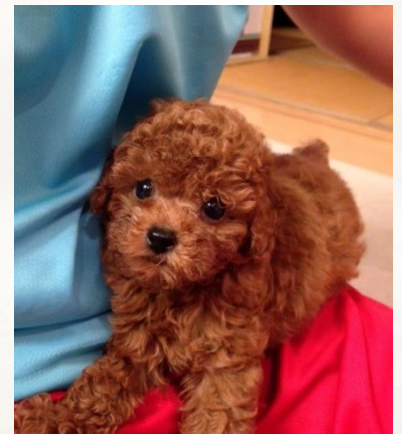
2024.2.10

弱小診断士勉強会
竹内正之



1. 自己紹介

- ・ 千葉県在住
- ・ 大学卒業(政経学部)
- ・ 受験歴 2次4回
- ・ 弱小診断士勉強会2021年入会
- ・ エネルギー関係のサラリーマン

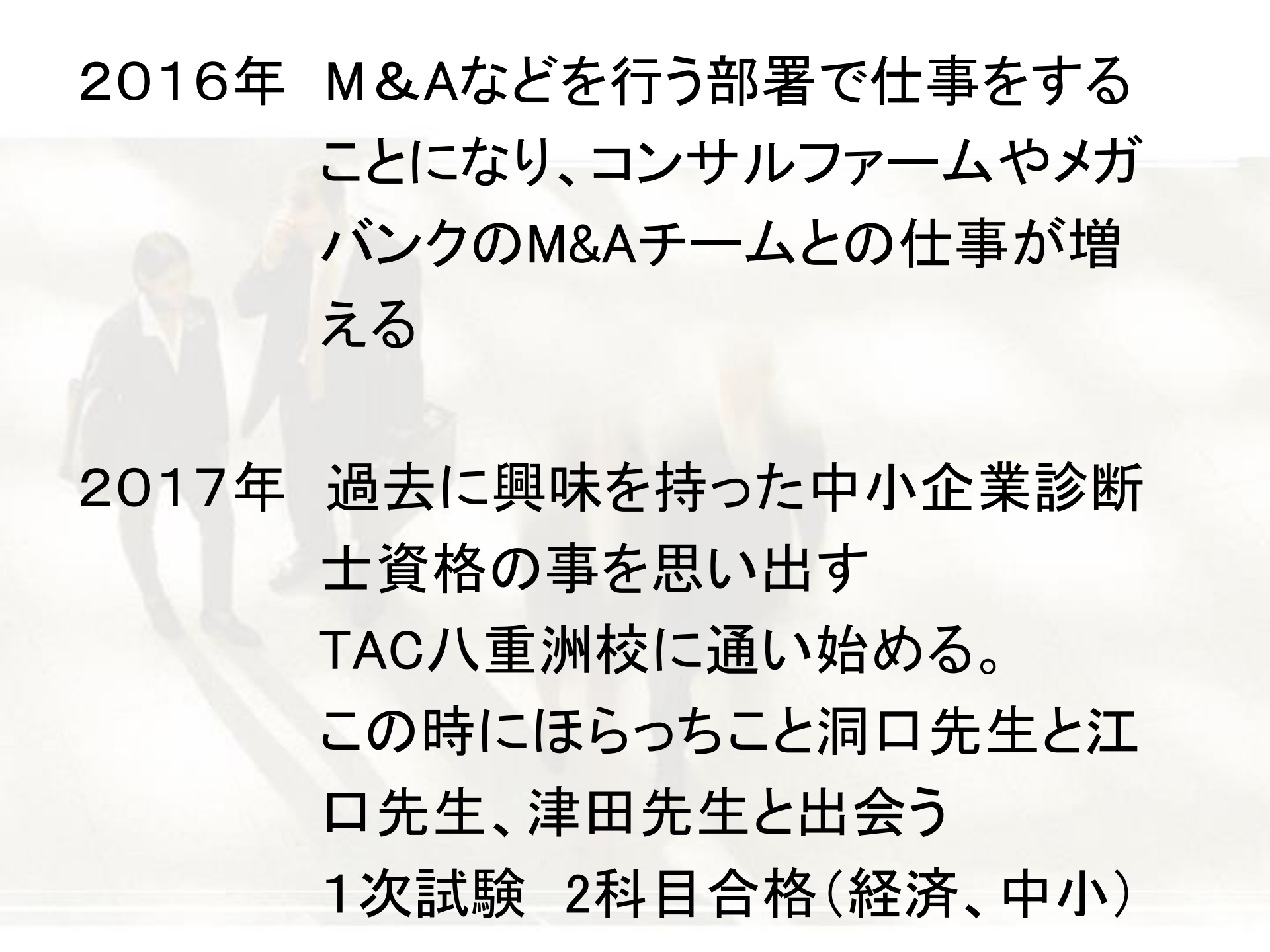


2. 受験歴

1996年 当時、将来に対して漠然とした不安を持っていた時ふと立ち寄った本屋で中小企業診断士の本をなんとなく手にする。

この時面白そうな資格だなと興味を持つが、なんだかすごく大変そうだなと思った。

時を経て



2016年 M&Aなどを行う部署で仕事をする
ことになり、コンサルファームやメガ
バンクのM&Aチームとの仕事が増
える

2017年 過去に興味を持った中小企業診断
士資格の事を思い出す
TAC八重洲校に通い始める。
この時にほらっちこと洞口先生と江
口先生、津田先生と出会う
1次試験 2科目合格(経済、中小)

2018年 1次試験 2科目合格(経営、運営)

2019年 1次試験 2科目合格(財務、情報)

2020年 1次試験合格

2次試験不合格 CCAD

2021年 1次保険受験 3科目合格

(財務、経営、情報)

2次試験不合格 BCAC

2022年 1次試験合格

2次試験不合格 BCBA

52・47・52・60

2023年 1次試験保健受験

2次試験合格 (BBAB)

58・59・64・59

ということでここまで7年が
経ちました



3. 2次試験の勉強への取り組み

1回目

1次合格まで4年かかり安堵感と達成感に包まれていた。

2次試験の手ごわさを何も考えていなかった。

この年はコロナウイルスの関係で受験資格の持越しができた年であった。

この勢いで行けば大丈夫と延期せず、TACとLECの模試を解いたが全く要領得ずあえなく撃沈

2回目

このままではダメだ！どうする！

1回目の不合格を確認した後すぐにネットでスクールを探すのと同時に勉強会を物色する。

スクールはTBCのDVD通信教育に入会して勉強会は弱小診断士に入会する。

とにかくスクールも勉強会もお題をこなしていた感じであった。お題をこなしていけばそのうち慣れてきて何とかなるのではと軽く考えていた。やった感がなんだかあった。

勉強会に入会して思ったことは、皆さん色々な

事を知っているな。そんな風に与件で読むのか等、気づきが多くあった。

教材やWEB、YouTubeの情報等何でこんなに情報量が豊富なものと言うくらい沢山の情報を得られた。

だがあえなく撃沈

この時の気づき、知識が足りないことがわかったので、知識の補充をするようにした。

3回目

ひたすら知識の補充と「ふぞろい」を使った勉強を中心に行った。

通勤時、出張の道中、時間が空いたらとにかくTBCの抽象化ブロックシートの暗記をしていた。

過去問は「ふぞろい」を活用して自己採点を行っていた。

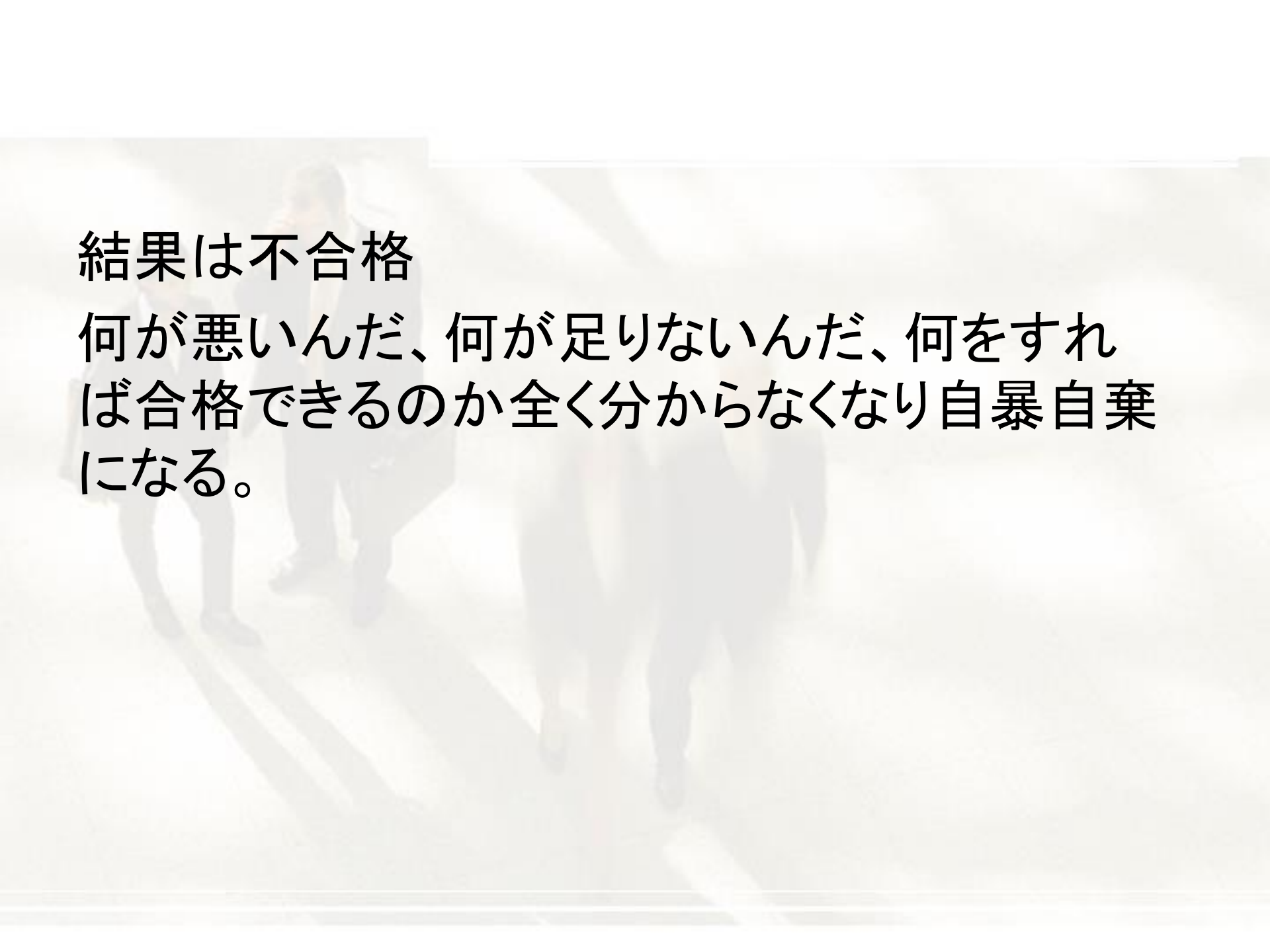
試験が近くなるほどに点数も上がり自信を持ち始めた。最終的にはどの事例を何度解いても70点以下はなくなった。

が

冷静に解答を読んでみると「日本語になっていない」キーワードはしっかりと解答に埋め込まれている。だから点数は良い。

いつの間にか変な型が付いてしまった。戻さなければ、試験まで後1か月何とか修正しなければと思い弱小の仲間と個別で勉強会を行った。何とか修正できたかと思った。

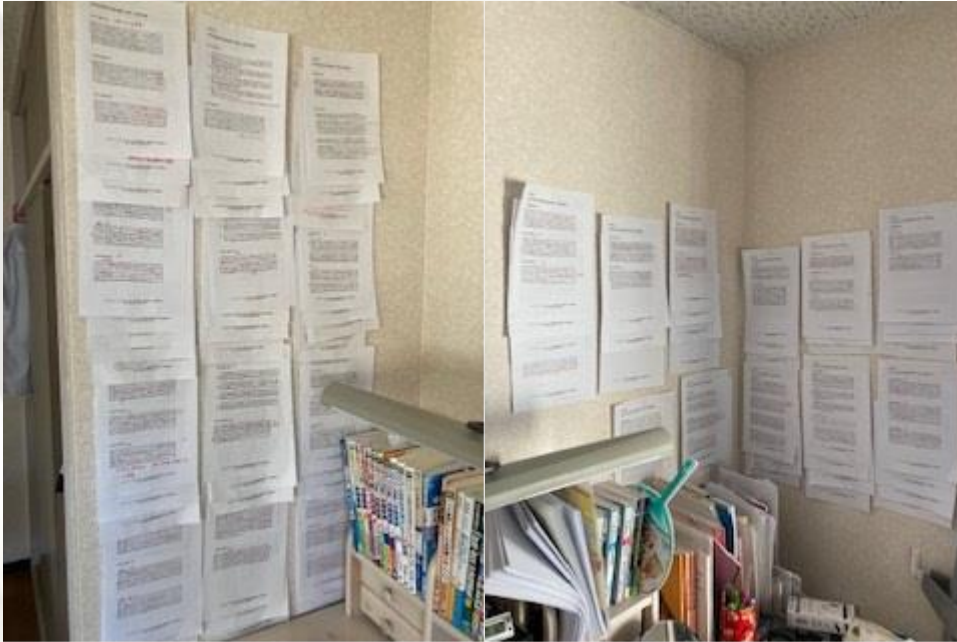
が

A blurred background image showing the lower legs and feet of several people walking on a light-colored floor, possibly in a hallway or office setting. The image is out of focus, emphasizing the text in the foreground.

結果は不合格

何が悪いんだ、何が足りないんだ、何をすれば合格できるのか全く分からなくなり自暴自棄になる。

3回目の部屋の様子



こんな時

モチベーションが維持できたのは勉強会入っていたからに他なりません。

- 皆も頑張っている
- 皆も同じ思いだ
- 次こそ皆で合格して笑いたい
- つらいのは自分だけじゃない
- いつの間にか今年の勉強スケジュールの打合せを話し合っている。
- そしていつもの勉強モードに入る

4回目

再度スクールで勉強し直そうと思いクレアールの通信教育に申し込んだ。

今まで先輩や皆に言われてきたことやスクールで何を指摘されていたかをじっくりと思い出していた。

そこで重点的に行ったことは

4. 合格年の取り組み

- ・ 事例企業の社長に寄り添うこと
事例企業の経営課題は何か、あるべき姿はどのような姿なのか
このことを最初に考えてから事例に取り組む
- ・ 知識と与件の言葉で解答を作成する
- ・ 解答に一貫性を持たせること

- ・ 過去問のセオリーを捨て、目の前の事例と向き合う

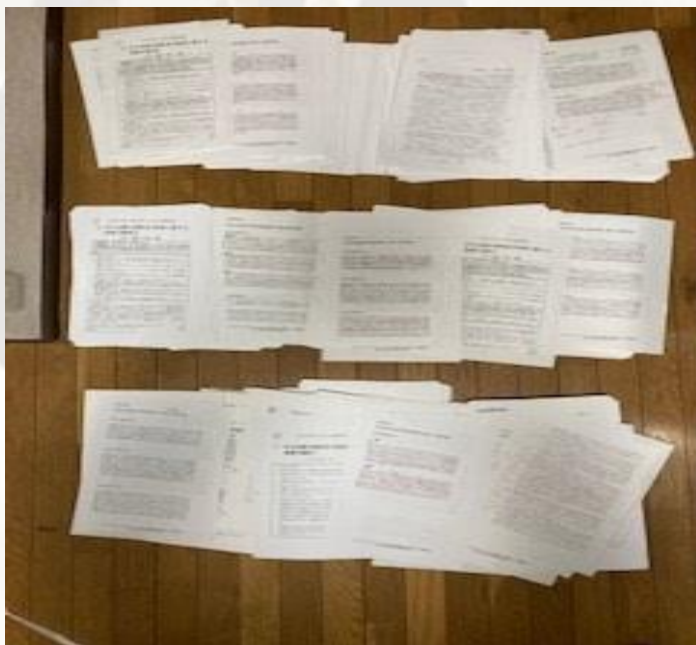
EX)

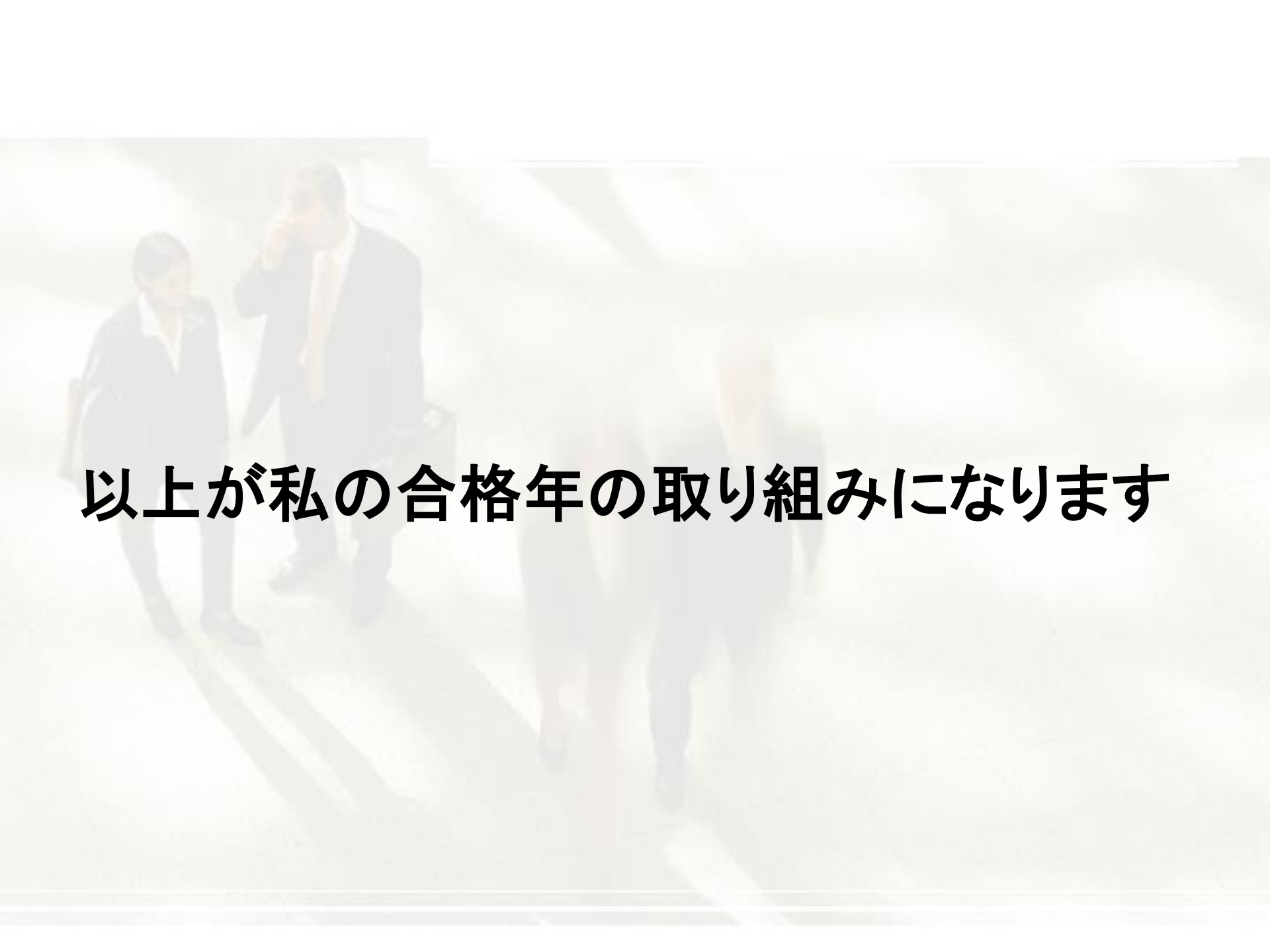
この内容は「地域貢献」で決まりだな。
「売上向上」と解答しとけば間違いない

- ・ 設問で聞かれている事だけに解答する
聞かれたことに応える。聞かれていないことは解答しない

- ・ 毎日必ず事例を解く、採点振り返りまでやる
- ・ 事例Ⅳを2時間毎日必ずやる
(イケカコ・全知全能事例Ⅳ・中小企業診断士 第2次試験 事例Ⅳの解き方)
- ・ 可能な限り図書館で自習するようにする
- ・ 解答はなぜこの解答をしたのかをロジカルに答えられるよう作成する

4回目の解いた過去問



A blurred background image showing several business professionals in a hallway. A man in a suit is talking on a mobile phone, and a woman is walking towards him. The image is intentionally out of focus to create a sense of motion and a professional atmosphere.

以上が私の合格年の取り組みになります

5. 弱小勉強会に入会して

- ・ 同じ志を持つ仲間と切磋琢磨してモチベーションの維持・向上が図れた
- ・ 完璧解答と思い発表するが沢山の目で見られるため気づきが多い
- ・ 短期目標となる毎週の勉強会に参加することで勉強方法や考え方の修正ができる

- ・ 診断士の先輩方からのアドバイスで視野が広がる
- ・ 勉強会で指摘されるので緊張感をもって勉強ができる
- ・ 新しい情報を得られる
- ・ 与件などを様々な視点から見られて自分が気づけなかったことの発見ができる

受験生の皆さんへ

始めなければ何も起こらない

受験生の皆さんへ

1歩踏み出せばゴールに1歩
近づく

受験生の皆さんへ

次の一歩でまた近づく

受験生の皆さんへ

**あきらめなければ必ず合格
をつかむことができます**

受験生の皆さんへ

Never give up

受験生の皆さんへ

**一緒に合格をつ
かみ取りましょう**

慈恵清心
ありがとうございました